

| | |
|-----------|---|
| 研究課題名 | 日本産科婦人科学会婦人科腫瘍登録施設の広汎子宮全摘出術の実態調査 |
| 所属(診療科等) | 長崎みなとメディカルセンター 産科・婦人科 |
| 研究責任者(職名) | 小寺宏平(主任診療部長) |
| 研究期間 | 2019年4月26日 ~ 2021年12月31日 |
| 研究目的と意義 | 本研究成果と、婦人科悪性腫瘍研究機構による調査研究(先進医療としての腹腔鏡下広汎子宮全摘出術の実態に関する調査研究)を比較することにより、開腹手術と鏡視下手術の比較を行うことが可能となります。 |
| 研究内容 | <p>●対象となる患者さん</p> <p>西暦2015年1月1日より2015年12月31日までの間に、子宮頸癌IB1期またはIIA1期と診断され、日本産科婦人科学会婦人科腫瘍登録参加施設に入院し、広汎子宮全摘出術を受けた方</p> |
| | <p>●利用する情報</p> <p>①患者背景(年齢、臨床進行期(FIGO stage)、最大腫瘍径(座像ないし実測による)) ②手術(手術日、術者(婦人科腫瘍認定の有無)、第一助手(婦人科腫瘍認定の有無)、傍大動脈リンパ節廓清の有無、手術時間、出血量、輸血の有無、術中合併症) ③手術内容(摘出リンパ節个数、手術合併症) ④術後(病理診断、pTNM、術後合併症、頸部間質浸潤の有無、切除断端残存腫瘍の有無、脈管侵襲の有無、補助療法の有無とその内容、リンパ節転移の有無とその部位、再入院の有無) ⑤予後(再発の有無、再発部位、再発確認日、生存の有無、最終生存確認日) ⑥施設(婦人科腫瘍専門医修練登録認定の有無)</p> |
| | <p>●研究方法</p> <p>上記の情報を診療録(カルテ)から抽出して集計します。あなたが治療を受けた広汎子宮全摘出術の手術の内容、経過、副作用、予後情報などについて検討します。</p> |
| | |
| 問い合わせ先 | <p>所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター</p> <p>住所：長崎市新地町6番39号</p> <p>電話：095(822)3251</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)</p> |